

## 第24回古代体験まつり



古代体験ひろばの様子



ステージイベント「和太鼓演奏」



古代の樹木を観察しよう

令和4年10月2日(日)に第24回古代体験まつりを開催しました。

このイベントは、発掘調査の成果などからわかった古代の知恵やワザを体験する総合的な歴史イベントで、今年は人気の古代体験やステージイベントなど、合計15の体験コーナーを設けました。

屋外のステージでは、金沢市辰巳町の辰巳こんころ太鼓保存会による「和太鼓演奏」や「まいぶん〇×クイズ」を行ったほか、古代体験ひろば周辺では、石川県立自然史資料館とのコラボ企画「古代の樹木を観察しよう」を行いました。

今年は天候に恵まれたこともあり、家族連れを中心に会場は終日大いににぎわいました。



R4 古代体験

# 古代体験まつり

今年の古代体験まつりは、和太鼓演奏などのステージイベントをはじめ、石川県立自然史資料館とのコラボ企画や、人気の「縄文弓矢」、「火おこし」など、15の体験コーナーを設けました。

まつり当日は天候にも恵まれ、約1,100人の方が来場し、会場は終日にぎわい、各所コーナーでは順番待ちの列ができるほどの盛況ぶりでした。

特に、「縄文弓矢」や「火おこし」、「まが玉作り」など、古代のワザに触れる体験がとても人気でした。また、「古代米体験」、「縄文クッキー体験」、「農園収穫体験」など、古代の食に関する体験も人気が高く、事前に案内していた時間になると、長蛇の列ができていました。

さらに、会場内に設置したフォトスポットでは、来場者がはにわと一緒に記念撮影する様子や、古代衣装の顔出しパネルで古代人になりきって記念撮影する姿が多く見られました。

来場者の皆さんからは、「弓矢で的に当たって楽しかった!」、「大きなサトイモが穫れて満足!」など、体験に満足したという感想や、「もっと他の体験もしてみたい」など、古代のワザや文化に興味を持ったという声をいただきました。



縄文弓矢



火おこし



まが玉作り



農園収穫体験



発掘体験



土偶づくり



まいぶんO×クイズ



たくほんでポン!



ぬりえ

## R4 発掘調査

ひとつはり いせき こまつし  
一針 C 遺跡 [小松市]

一針 C 遺跡は、梯川<sup>かけはしがわ</sup>右岸の河川敷に位置する集落遺跡です。梯川の改修工事に伴い、平成 25 年度から発掘調査を行っており、川の氾らんなどに伴う土砂堆積により、弥生～室町時代の複合遺跡であることが明らかになっています。

令和 4 年度は昨年度に引き続き、新たにつくられた堤防の内側で、増水期を避けた春と秋に発掘調査を行っています。調査は、1～3 の 3 つの調査区を対象としています。

上流側の「調査区 1」では、弥生時代後期～平安時代に流れていた梯川の旧流路や弥生時代中期の集落を囲んでいた環濠の一部を確認しました。

下流側の「調査区 2・3」には、掘立柱建物柱穴や井戸、土抗など弥生時代～中世の遺構が見つかり、流路が埋没した後に掘られた中世の井戸の中には、縦板組の井戸枠を持つものもありました。

各調査区からは、土器や陶磁器、管玉未成品・砥石・行火・石臼などの石製品、曲物やタモ網枠木などの木製品といった各時代の多彩な遺物が出土しました。



春期調査地の遠景（南東から海方向を望む）



調査区 1 の全景（北東から）



調査区 2・3 の全景（南東から）



[調査区 1] 弥生時代の環濠掘削作業風景（南西から）



[調査区 2] 中世の井戸枠（北西から）



[調査区 3] 中世の木製品（タモ網枠木）（南東から）

R4 発掘調査

た くらうわのやまいせき  
**宅田上野山遺跡** [輪島市]

宅田上野山遺跡は、河原田川と鳳至川とに挟まれた通称“上ノ山”と呼ばれる標高約 24m の台地上にある遺跡です。これまでの輪島市教育委員会の調査で旧石器時代から室町時代の散布地と集落が確認されています。

今回の調査は国道 249 号線（輪島バイパス）の建設に先だて行われ、遺跡の中央西側にあたります。調査区は中央におよそ幅 30 m、深さ 3 m の谷部があり、その両側に古代から近世の集落がみつかりました。

谷部西側では大きな柱穴の側柱式掘立柱建物、土師器の焼成とみられる土坑などからなる古代の集落がみつかりました。谷部東側では総柱式掘立柱建物があり、大きな柱穴の建物が古代、小さな柱穴の建物が近世で同一面で見つかりました。近世の建物は幕末の海防施設である輪島在住との関連がうかがえます。

谷部からは上層で 7～8 世紀の須恵器、下層で縄文後期から晩期の土器・石器が大量にみつかりました。谷部底面には粘土採掘坑とみられる土坑や磨製石斧などの石器を製作していた作業場もみつかりました。



調査区の遠景（南から輪島港方向を望む）



調査区全景（北から）



谷部西側 古代の掘立柱建物（北から）



谷部東側 古代・近世建物群（南から）



谷部 調査風景（北から）



谷部 縄文土器出土状況（北から）

## R4 古代体験

## 『親と子の発掘体験教室』

毎年人気の「親と子の発掘体験教室」を開催しました。この教室は、小学校4年生～中学生とその保護者を対象に、実際に遺跡の発掘調査を体験します。

今年は、8月6日（土）に七尾市<sup>やたいせき</sup>矢田遺跡で開催した第1回に9組19人、9月3日（土）に輪島市<sup>たくたろうのやまいせき</sup>宅田上野山遺跡で開催した第2回に8組18人がそれぞれ参加しました。

体験教室では、調査員から遺跡や発掘方法についての説明を聞いた後、遺跡の発掘を行いました。

当日は暑い中での発掘にもかかわらず、土器をみつけようと、汗を流しながら皆さん頑張っていました。最初はうまく掘ることができない様子でしたが、作業に慣れてくると、次々と土器を掘り出していました。発掘終了後の洗浄体験では、自分で掘り出した土器を洗浄し、何に使われていたのか職員に質問する様子も見られました。

教室の最後には、子どもたち一人一人に「こども考古学者認定証」と記念品が手渡されました。「なかなかできない体験でよかった」、「大変だったけど楽しかった」など十分発掘を堪能できたという感想が多く聞かれました。



遺跡の説明



親子で発掘作業



出土遺物の解説



掘り出した土器を洗浄



認定証の授与

R4 古代体験

『まいぶん・バックヤードツアー』

ふだん見ることの出来ない職員の作業場や遺物を収納している部屋などを、調査員とともに探訪するイベントです。昨年度は、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置による休館のため、2年ぶりの開催となりました。8月15日（月）～26日（金）の平日10日間のツアーでは、学校の夏休み期間のため家族連れの方も多く、80名を超える参加者がありました。

ツアーでは、掘り出した遺物を洗う洗浄室や土器などの破片を接合して復元する整理室、金属や木器の遺物の処理作業などを行う保存処理室などを見学しました。参加者は、職員の地道で繊細な作業に感心しながら移動し、これまでの出土品が保存してある収蔵庫では、7万箱にも及ぶ遺物の多さに感嘆の声をあげていました。

県内の代表的な遺物を展示してある収蔵展示室では、復元した土器などを興味深く観察し、熱心に質問をされる方も見受けられ、本ツアーならではの良さが引き立っていました。

また、今年はこの期間に、「第24回いしかわの発掘展」を開催していたため、その展示についての解説も行いました。ツアー終了時には、参加者から温かい拍手が贈られたことが、ガイド役の職員にとって最大の<sup>ねぎら</sup>の労いとなりました。次年度は、さらに多くの方々に訪れていただきたいと願っています。



洗浄室



整理室



保存処理室

R4 古代体験

『人物はにわづくり』

学校の夏休み期間でもある7月21日（木）～8月1日（月）に毎日40人限定で「人物はにわづくり」講座を実施しました。毎年大人気のこの講座は、のべ12日間で約400体のはにわが作られました。

はにわとは、3世紀後半～6世紀にかけて作られ、主に古墳に飾られた素焼きの土器のことです。本講座で製作する人物はにわは、頭部の形に特徴があります。体験者は、帽子型や冠型など思い思いのはにわを作成していました。

粘土ひもを輪積みにしながらかけて作っていきませんが、腕を取り付ける作業など、難しい部分では苦勞している様子もうかがえました。保護者の協力を得ながら作り上げた子や、自力で最後まで仕上げた人たちが、仕上がった自分の作品を満足げに見る姿が微笑ましい体験講座でした。

仕上がった作品は、後日登り窯で焼成し、皆さんにお渡ししました。



製作の様子



窯で焼成

## R4 情報発信

## 第24回いしかわの発掘展 『城下町のいとなみ』

令和4年7月16日（土）～9月4日（日）に開催し、8月15日（月）～26日（金）の平日には「まいぶん・バックヤード・ツアー」の一部として展示解説を行いました。

展示では、城下町に居住していた人々の中から職人、商人、武士という職業に注目して、それぞれが携わっていた生産・流通・消費の様子が見える出土品を中心に紹介しました。昨年度の企画展「いしかわの城下と村」は、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置による休館により開催期間が短くなってしまいました。今年度は、昨年度の企画展を再構築し、新たな資料をプラスしたものとしました。さらに、埋蔵文化財センター初の企画展の紹介動画を撮影して配信しました。



会場の様子



展示解説の様子

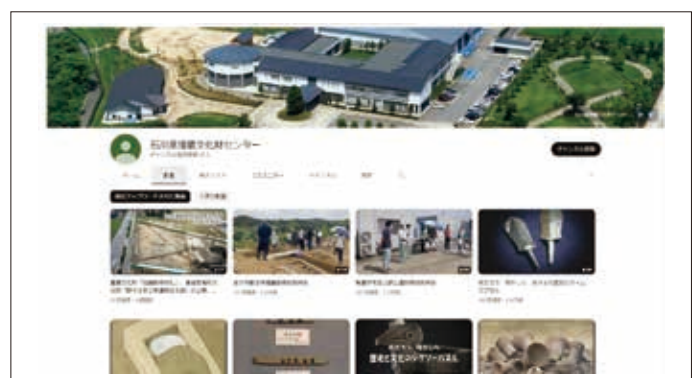
## R4 情報発信

## 動画公開（公式チャンネルを開設）

埋蔵文化財センターの普及・公開活用の一環として8月に石川県埋蔵文化財センター公式チャンネルを開設しました。

動画の第1弾として第24回いしかわの発掘展『城下町のいとなみ』を配信しました。さらに埋蔵文化財センターの仕事紹介や古代体験、現地説明会など11本の動画を視聴することができます（R4.12現在）。また、来館者には、本館ホールのモニターで数本の動画を見ることができるようになりました。

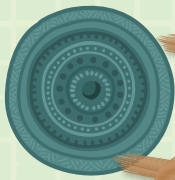
今後も、遺跡や歴史について楽しく学べる動画や埋蔵文化財センターのイベントなどを配信していく予定です。



公式チャンネルのトップページ

チャンネル登録  
お願いします!!





# まいぶん日誌

令和4年(2022)  
7月～10月



7月

講座「ミニ縄文土器づくり」

中学生の職場体験



初めての土器づくりに挑戦



講座の準備をします



夏休みの大人気企画  
「人物はにわづくり」

今年も  
たくさんの作品がなりました

「いしかわの発掘展」準備中！  
テーマは“城下町のいとなみ”

はにわに見つめられながら  
作ります



きれいに染め上がりました

8月



講座「藍の生葉染め」

大人気！はにわストラップ

9月



「まいぶん博士チャレンジ講座」  
弥生のはたおり体験

輪島市宅田上野山遺跡で  
第2回「発掘体験教室」



8月20日  
「まいぶんはにわの日」



古代体験まつり

10月



職員全員集合



10月の工房体験メニューは  
「縄文ポシェットづくり」です

縄文フッキーの試食



「第1回まいぶん考古学講座」開催

作品は登り窯で焼き上げます

講座「須恵器づくり」



小学生の施設見学

県内各地の土器が見られるよ！